愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	次世代ファイナンス		
担当者(Instructors)	梶田 政人	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「貯蓄から投資へ」と唄われて久しいが、その動きは一般人にはあまり浸透していない。その背景には投資教育の未発達があるように思われる。 そこでこの講義では、初めて投資をする人にとって必要な知識を提供すると共に、国内株式投資に模擬投資をすることで、講義期間中の世の中の動きが株価にどのような影響を与えるかを疑似体験してもらい、受講学生が将来躊躇なく投資の第一歩を踏み込めるようにすることを目的とした講義を行う。また、株式以外にも世間にどのような投資対象があるかを紹介する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	プロジェクターを用いた講義形式を基本とするが、学生の興味関心の度合いに応じて、ディスカッションやグループワークを展開し、能動的に学習できるようにする予定である。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	投資に関する基礎知識	そもそも投資とは何かを考え、その目的によりどのような投資対象があるかを紹介。また投資が心理学や統計学とも関連することを紹介	□
第2回	国内株式投資の第一歩	国内株式に投資をするための準備手続を中心に紹介。具体的には証券会社選びから、口座開設手続の流れ、必要投資金額、注文方法などを紹介	□
第3回	国内株式投資対象銘柄選定方法及び国内株式に対する模擬投資開始	投資対象として国内株式を前提とし、設定した投資期間に応じた銘柄選定方法の紹介。また、模擬投資として、国内株式銘柄から第15回講義終了時までに最も上昇すると予想する銘柄を各自1銘柄選定。	□
第4回	投資のためのチャートの見方①	過去の価格変動を記した「チャート」の発生の歴史から読み方、代表的な買いサインを詳説	□
第5回	投資のためのチャートの見方②	代表的な買いサインのみならず、売りサインについても詳説。過去現実に買いサインを出現させて株価が上昇しているチャート例を紹介	□
第6回	チャート以外の投資の基準 投資のための企業業績の見方	中長期投資に必須の企業業績について難しい決算書類ではなく四季報などに記載された数値の簡単な見方を紹介。短期投資として市場資金動向やアノマリー投資の紹介	□
第7回	投資のリスクとリターンの詳説	株式投資のリスクとリターンを詳説。結局は期待値が投資行動の基本となることを詳説。	□
第8回	株主優待制度のうまみ	身近な株主優待制度としてどのような内容の物があるのかを紹介	□
第9回	国内株式取引に関する法規制及び税制	国内株式投資に関しどのような法規制があり、どのような納税義務があるかを紹介。併せてNISAやiDeCoなど税制優遇投資の内容も紹介	□
第10回	金融派生商品概説	ＣＢ、ワラント債、オプション取引など、金融派生商品全般について最低限度の知識を概説	□
第11回	投資信託概説	膨大な数がある投資信託の種類と仕組み、手数料などを紹介。分配濃霧や為替リスクヘッジの有無などの注意点も紹介	□
第12回	債券投資、不動産投資	長期投資向きの債券投資、不動産投資を概説。 いずれもローリスクローリターンだが、長期投資になぜ向いているのかを詳説。	□
第13回	アメリカ株投資、FX投資のリスクとリターン	アメリカ株の動向、為替動向の紹介。及び投資の際の為替リスクの説明	□

第14回	その他物に対する投資	絵画、車、バイク、カードなど、中古品（ビンテージ品）のあらゆる物が投資対象となっていることの紹介	□
第15回	投資にとって重要なことの再確認	講義全体のまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の題目内容に応じた予習をすること。予習方法はネット上で基本用語、業界用語等を検索し、講義で耳にした際にその都度検索する必要がない程度に理解しておくこと(1時間程度）。講義終了後は、講義で配付した資料等や新聞、テレビなどのマスコミ情報を参考に、株価や為替動向などを1週間継続的にウォッチすること（3時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義終了時に習得内容について簡単にレポートを作成。毎回提出されたレポートは、添削採点し、必要に応じて翌週フィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	投資の第一歩として国内株式投資に躊躇することなく投資できる。また、社会の動静が投資対象にどう影響するかを他者に説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			90%	10%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回講義終了時の10分間で小テストとレポート作成を実施する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし。レジュメ配布予定。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		